

2017 2/28 第26号

ふくしま 再生 短信

2017/2/25 東京・ワークショップ報告

※ 私たちに何ができるか？ ※



宗夫さん



分科会2



永徳さん



分科会1



聡太さん



分科会3

2017年2月25日午後2時、東銀座のJJK会館でふくしま再生の会ワークショップ「帰村が始まる飯館村 私たちに何ができるか」が開催され80名の会員と関係者が参加。分科会1は小原壮二さんの司会＜帰村開始後の環境放射線・放射能総合測定とデータ提供、帰村後に何ができるか＞、分科会2は中町芙佐子さんの司会＜健康・医療・ケアの実践＞、分科会3は大永貴規さんの司会＜農林畜産業の再生＞、をそれぞれテーマとして意見交換・体験交換・今後に向けての具体策を討議。

「帰村開始」というたいへん緊迫した状況を押して飯館村から、菅野宗夫さん、菅野永徳さん、佐藤聡太さんが参加。各分科会のまとめ報告と質疑で、田尾陽一さんから「現代版炭焼きとしてロケットストーブの稼働実験を開始、自然との新たな共生のかたちを模索し

たい」との報告あり。

軽食休憩の後、6時から全体会合に入り、アーカイブの開発（栗山俊一郎さん・高木浩子さん）、農業再生・地力とは（溝口勝さん）、佐須地域コミュニティ（宗夫さん・永徳さん・田尾さん）の報告に続き、国立環境研・明大農学部・東大農学生命科学研究科・プラチナギルドの会・渥美財団SGRA・東大”いいはな”、などの協働団体から挨拶あり。全体質疑で宗夫さん「村に＜戻る＞のではなく＜新天地を切り開く＞」。活動体制報告（二宮克彦さん）のあと田尾さんは「7年目迎え会員の健康管理が大切」と結んだ。9時丁度片づけ含め長丁場の全日程終了。最大級の企画、事務局メンバーはじめ準備から実施まで支えていただいたみなさまお疲れ様でした。ありがとうございました。（文責&撮影・若林一平）



栗山さん



全体会合